

日本航空株式会社

2024年3月期

決算説明会



JAPAN AIRLINES



2024年5月2日
代表取締役副社長執行役員グループCFO 斎藤祐二
執行役員 弓崎雅夫

©Japan Airlines, All rights reserved.



APEX
WORLD CLASS



Best Wi-Fi in Eastern
Asia 2024APEX"



SKYTRAX
2023年度

World's Best Economy Class
Best Economy Class Airline seat



SKYTRAX

World Airline Star
Rating
5-Star



DX銘柄2023
Digital Transformation

1. 2024年3月期 業績概要

2. 2024年3月期 業績詳細

3. 参考資料

ディスクロージャー
2023年度 優良企業



日本証券アナリスト協会
The Securities Analysts Association of Japan

work with Pride



SPORTS
YELL
COMPANY
2024



2024
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500



2024
健康経営銘柄
Health and Productivity

ESG社外評価



FTSE Blossom
Japan Index ※



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

2023 CONSTITUENT MSCI日本株 ※
女性活躍指数 (WIN)

Member of
Dow Jones
Sustainability Indices

Powered by the S&P Global CSA

Dow Jones Sustainability Asia
Pacific Index2年連続選定



気候変動「A-」評価
(2023年度)



当社によるMSCIインデックスへの組み入れや、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名称の使用は、MSCI又はその関係会社による当社の後援、宣伝、販売促進を目的としていません。MSCIのサービスおよびデータはMSCIの独占的財産で、MSCI及びMSCIインデックスの名称とロゴは、MSCI又はその関係会社の商標又はサービスマークです。

注.(1) 当資料における表中の値は、金額は億円未満を切り捨て、比率は小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(2) Q4(1月-3月)の実績はQ4累計実績(4月-3月)からQ3累計実績(4月-12月)を差し引いて算出しております。

(3) LCC=Low Cost Carrier (4) ※= 役員報酬算定にESG銘柄選定評価を導入しており、対象とする銘柄のうち当社が選定されているもの



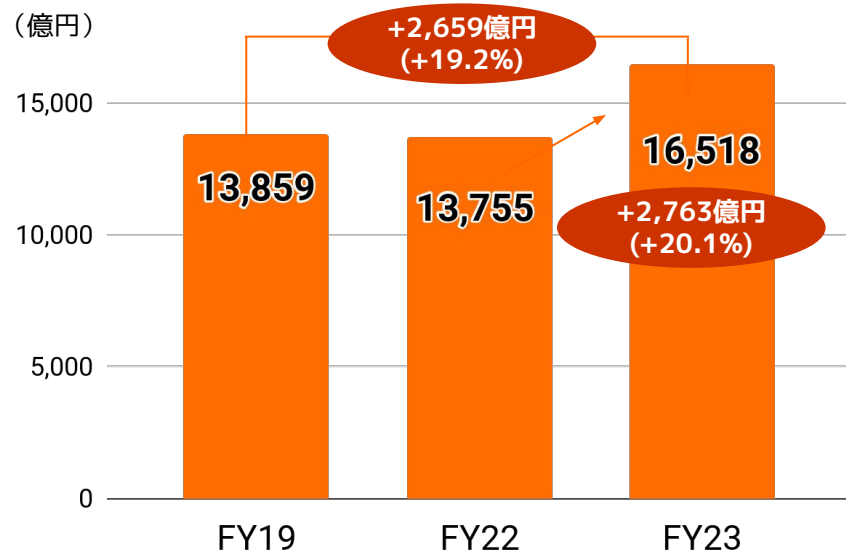
INTENTIONALLY LEFT BLANK

2024年3月期 業績概要

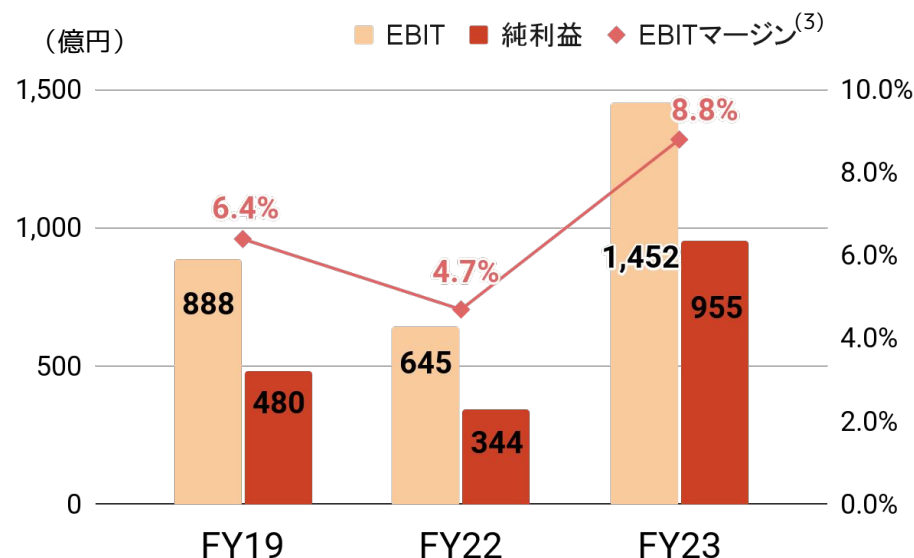


- ✓ 好調なインバウンドを積極的に取り込み前年同期比増収・増益を達成、利益予想を約50億円上回った
- ✓ 期末配当案は1株当たり40円から45円に増配、年間配当案は75円（配当性向34%）

売上収益



EBIT⁽¹⁾/純利益⁽²⁾



燃油・為替市況実績

	FY22	FY23	FY22比
シンガポール・ケロシン (USD/bbl)	128.3	103.2	▲19.6%
ドバイ原油 (USD/bbl)	95.2	81.9	▲14.0%
為替 (円/USD)	134.6	143.4	+6.5%

運航諸元/ASK

	FY23 (FY22比)		
	国際線	国内線	合計
フルサービスキャリア	+24.4%	▲0.2%	+12.6%
LCC	+81.4%	▲10.2%	+70.5%
合計	+30.8%	▲0.3%	+16.6%

(1) EBIT=財務・法人所得税前利益（税引前利益から利息等の財務収支を除いたもの）(2) 純利益=親会社の所有者に帰属する当期利益 (3) EBITマージン=EBIT/売上収益

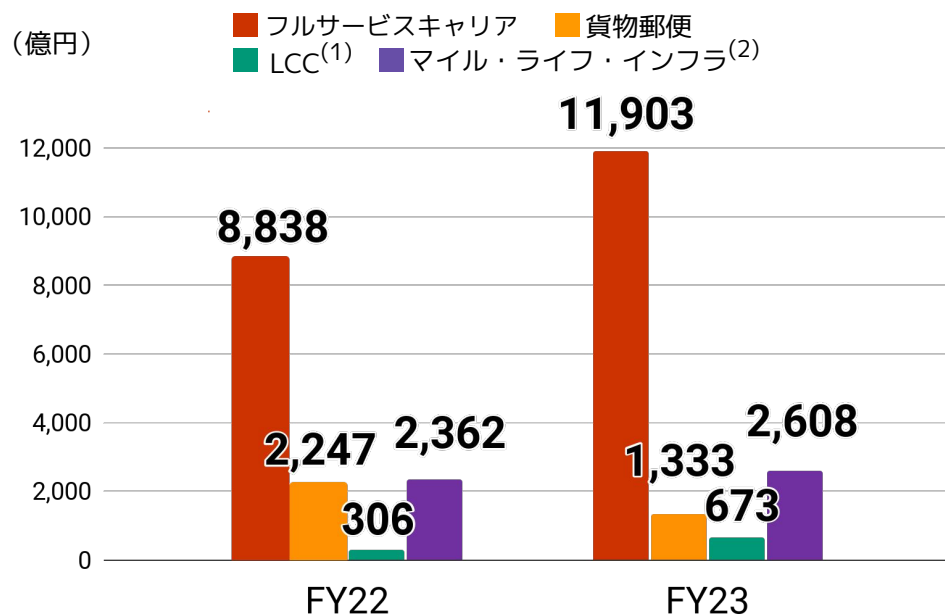
- 2024年3月期の売上収益は、好調なインバウンド需要を積極的に取り込んだことなどによって、前年度より2,763億円増加し、1兆6,518億円となりました。これはコロナ前の2019年度の売上収益を2,659億円上回るものです。
- EBITにつきましては、先日発表いたしました予想より約50億円上回る1,452億円となりました。また、同じく純利益に関しましても予想より約50億円上回る955億円となりました。
- 今期末の配当案といたしましては、一株当たり40円としていましたところ、配当性向を考慮し、45円に増配し、年間配当案は75円といたします。

2024年3月期 事業領域別実績

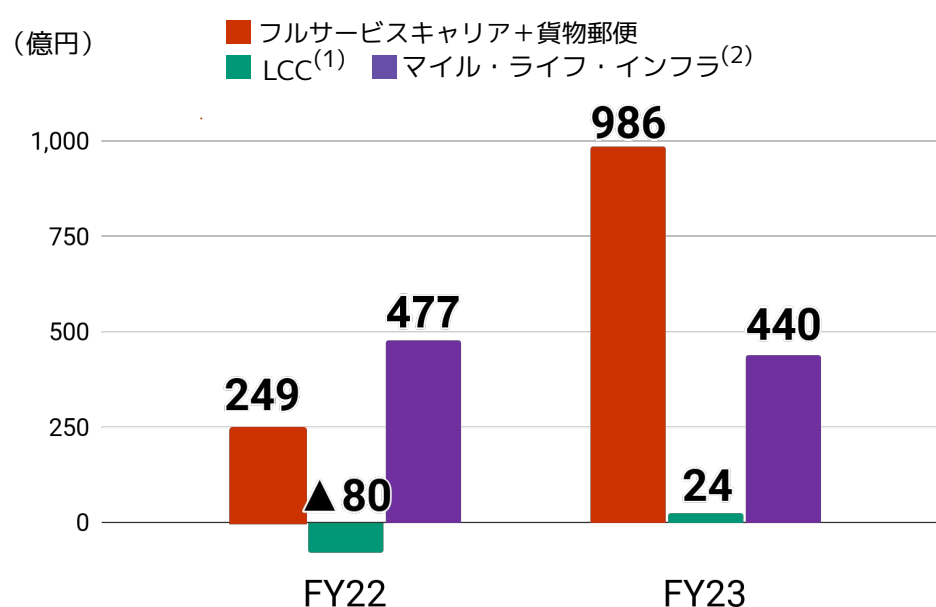


- ✓ フルサービスキャリア事業領域がけん引し、売上収益・EBITは大きく増加
- ✓ LCCのEBITは黒字に転換、マイル・ライフ・インフラは安定的に利益を計上

事業領域別 売上収益



事業領域別 EBIT



FY23Q4単独	フルサービスキャリア	貨物郵便	LCC	マイル・ライフ・インフラ	(億円)
売上収益	2,826	314	190	694	
EBIT	9		11	141	

- ・ 事業領域別の売上収益・EBITについては、社内管理上の簡便的手法で試算したものであり、事業セグメント別の売上収益・利益ではありません
- ・ 事業領域区分は、航空運送事業セグメント、その他とは一対一で対応しておりません
- ・ 今後社内管理ルールの変更等により、事後的に変更される可能性がある、あくまでも便宜的な数値であることをご了承願います
- (1) 売上収益は、連結子会社のZIPAIRおよびSPRING JAPAN、EBITは、連結子会社2社に加えて、持分法適用会社であるJetstar Japan
- (2) マイル・ライフ・インフラ=旅行・マイル提携・受託事業収入など

- こちらのページでは、各事業領域別の実績について社内管理上の数字を用いてご説明します。
- フルサービスキャリア事業領域が収益をけん引し、2024年3月期通期でのフルサービスキャリア事業領域のEBITは986億円の黒字となりました。
- LCC事業領域についても需要の回復により、EBITは24億円の黒字となりました。
- マイル・ライフ・インフラ事業領域も安定的に利益を計上し、EBITは440億円の黒字となりました。

1. 2024年3月期 業績概要
2. 2024年3月期 業績詳細
3. 参考資料



INTENTIONALLY LEFT BLANK

2024年3月期 業績詳細

連結経営成績



(単位：億円)	累計							単独		
	FY19	FY22	FY23	FY19		FY22		FY23Q4	FY22Q4	
				同期差	同期比	同期差	同期比		同期差	同期比
売上収益	13,859	13,755	16,518	+2,659	+19.2%	+2,763	+20.1%	4,025	+325	+8.8%
フルサービスキャリア	11,263	11,086	13,237	+1,973	+17.5%	+2,150	+19.4%	3,140	+230	+7.9%
国際旅客収入	4,862	4,175	6,223	+1,361	+28.0%	+2,048	+49.1%	1,506	+202	+15.5%
国内旅客収入	5,297	4,511	5,508	+211	+4.0%	+997	+22.1%	1,284	+128	+11.1%
貨物郵便収入	916	2,247	1,333	+417	+45.5%	▲914	▲40.7%	314	▲99	▲24.0%
その他収入	187	152	171	▲16	▲8.7%	+19	+12.5%	36	▲0	▲2.6%
LCC	-	306	673	-	-	+366	+119.5%	190	+77	+69.2%
マイル・ライフ・インフラ (1)	2,595	2,362	2,608	+12	+0.5%	+245	+10.4%	694	+16	+2.5%
営業費用	13,088	13,446	15,422	+2,334	+17.8%	+1,976	+14.7%	4,126	+580	+16.4%
燃油費	2,434	3,233	3,567	+1,133	+46.6%	+334	+10.3%	905	+89	+10.9%
燃油費以外	10,654	10,213	11,854	+1,200	+11.3%	+1,641	+16.1%	3,220	+491	+18.0%
その他収支 (2)	117	336	356	+238	+202.6%	+19	+5.9%	263	+119	+82.8%
EBIT	888	645	1,452	+564	+63.5%	+806	+124.9%	162	▲135	▲45.5%
EBITマージン(%)	6.4%	4.7%	8.8%	+2.4pt	-	+4.1pt	-	4.0%	▲4.0pt	-
純利益	480	344	955	+474	+98.8%	+611	+177.5%	96	▲84	▲46.7%
RPK(百万人キロ)	73,048	53,282	71,090	▲1,957	▲2.7%	+17,808	+33.4%	17,575	+2,373	+15.6%
ASK(百万席キロ)	90,109	78,717	91,779	+1,669	+1.9%	+13,061	+16.6%	22,913	+1,663	+7.8%
EBITDAマージン(%) (3)	18.1%	16.1%	17.7%	▲0.4pt	-	+1.6pt	-	13.4%	▲4.5pt	-

以降、本資料上のFY22とFY23の比較における事業領域別の売上収益・EBITについては、社内管理上の簡便的手法で試算したものであり、事業セグメント別の売上収益・利益ではありません。

(1) マイル・ライフ・インフラ=旅行・マイル提携・受託事業収入など (2) その他収支=航空機材売却益・その他の収入・持分法投資損益・投資収支

(3) EBITDAマージン=EBITDA/売上収益 EBITDA=EBIT+減価償却費

- 以降のページでは、2024年度3月期の実績をご説明いたします。
- 6ページは連結経営成績をお示ししております。

2024年3月期 業績詳細

EBIT増減の推移（収入／費用）

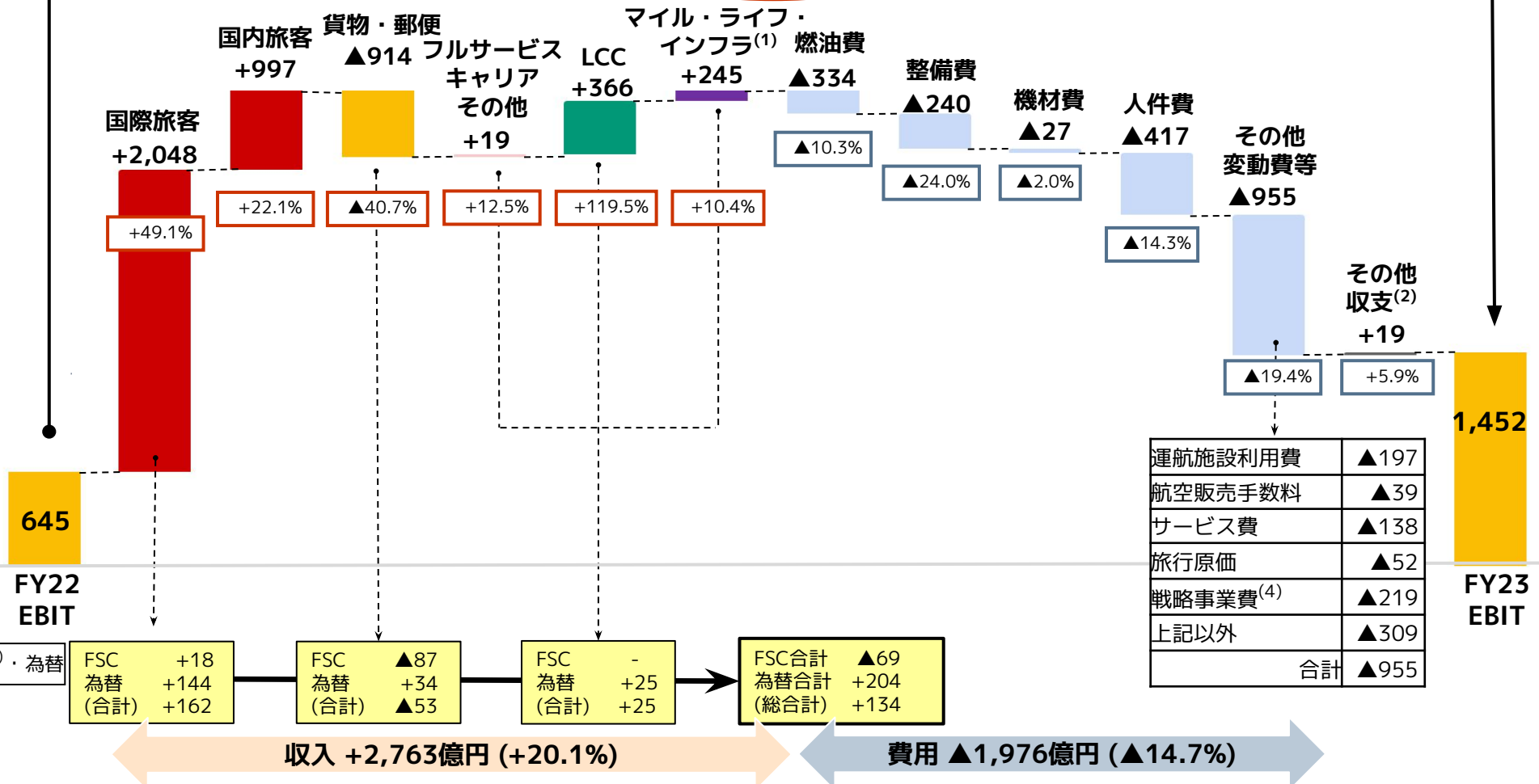


RPK前年同期比： +33.4%
ASK前年同期比： +16.6%

+806億円

+は利益増（収入増・費用減）
▲は利益減（収入減・費用増）を意味する

（億円）



(1) マイル・ライフ・インフラ=旅行・マイル提携・受託事業収入など

(2) その他収支=航空機材売却益・その他の収入・持分法投資損益・投資収支 (3) FSC=Fuel Surcharge (4) 戦略事業費=コマース・受託事業原価など非航空に関する費用

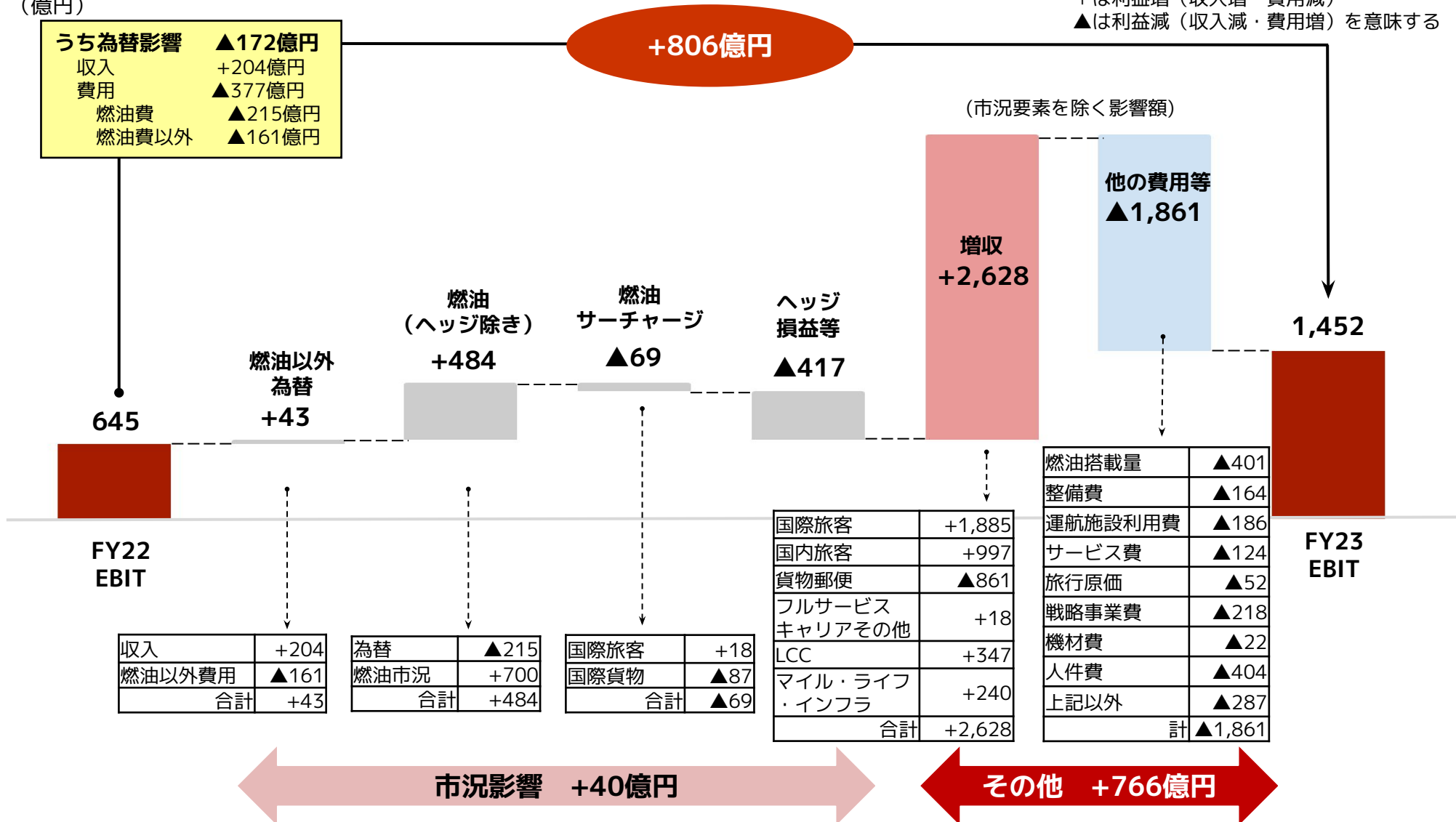
- このページでは、前年度からのEBITの改善要因を売上収益と費用にわけてお示しております。
- 収入につきましては、国際・国内旅客やLCC、マイル・ライフ・インフラの事業領域において増収となった結果、前年度より2,763億円の大幅な増収となりました。
- 費用は、旅客数および供給増に伴い運航規模や旅客数に連動する費用が増加しておりますが、引き続き供給の伸び以下に費用の伸びを抑えております。
- 以上の結果、EBITは前年より806億円の増加となりました。

2024年3月期 業績詳細

EBIT増減の推移（市況／その他）

（億円）

+は利益増（収入増・費用減）
▲は利益減（収入減・費用増）を意味する



- こちらのページでは、EBITの増加について市況影響とその他の要因に分けてお示ししております。
- 市況の影響については、通期で見ると燃油価格が前年よりも下がったことから、前年対比で40億円の収支改善効果がみられました。
- また、これら市況影響を除く実力ベースでも、766億円の増益を実現しております。

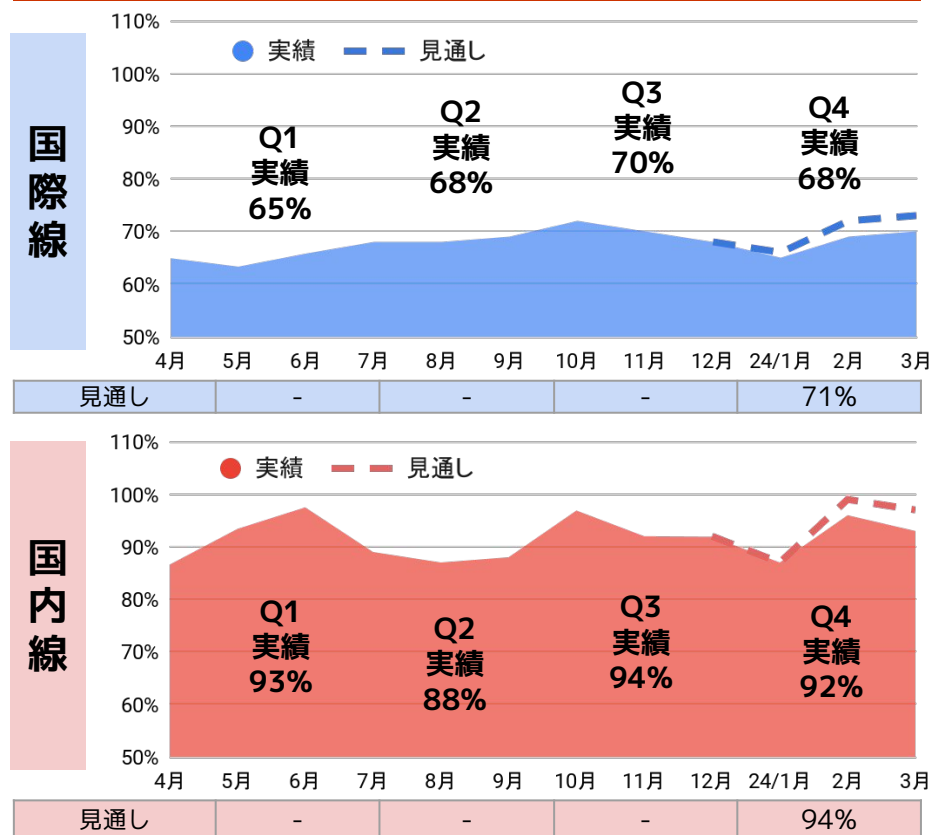
2024年3月期 業績詳細

国際・国内旅客（フルサービスキャリア）



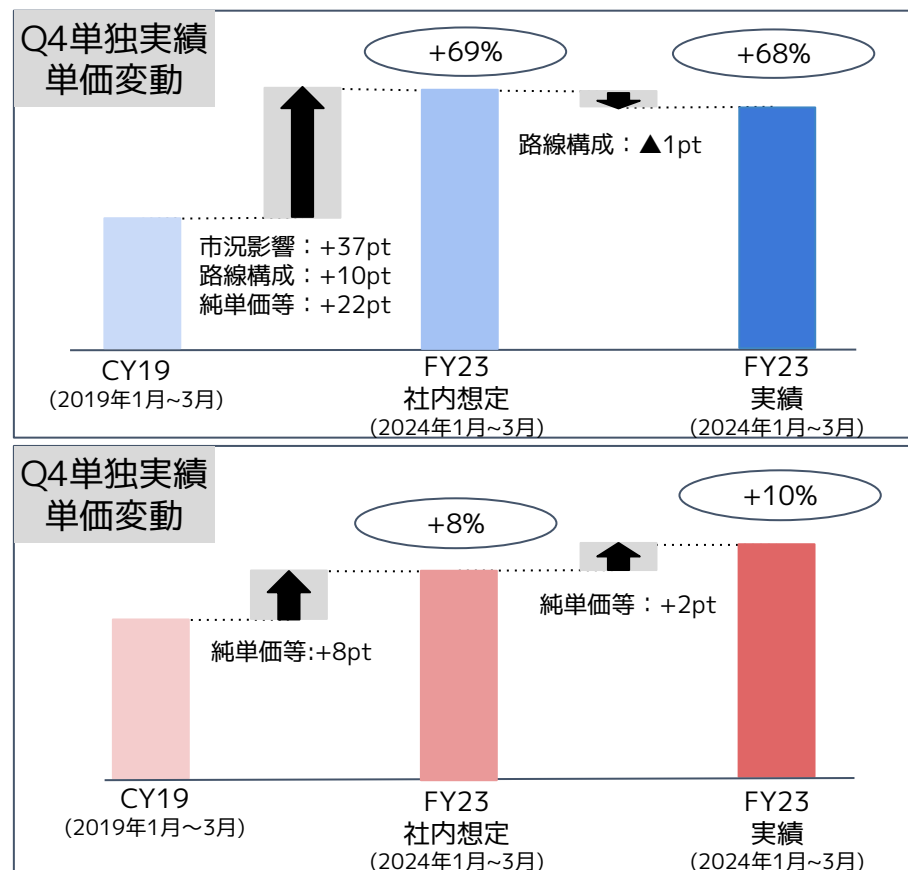
- ✓ 国際旅客は、冬場に一時的に需要が弱含んだものの期末に向けて着実に回復、4月以降はCY19対比で70%を超える見通し。単価は4月以降も高い水準を維持できる見込み
- ✓ 国内旅客は、第4四半期は需要が想定をやや下回ったが、単価増でカバーし、想定並みの収入を確保。4月以降はより高い単価水準を見通す

旅客需要 (CY2019比) ⁽¹⁾



(1) CY2019=2019年1月~12月

単価 (CY2019比) ⁽¹⁾



- こちらのページでは直近の需要及び単価の動向について示しております。
- 国際旅客については、冬場に需要が一時的に弱い動きを見せたことから、第4四半期は19年対比で68%の回復にとどまりました。一方で、需要自体は年度末に向けて上向いており、4月以降については70%を超える水準への回復を見通しております。また、単価についても引き続き高い水準を維持しております。
- 国内旅客については、第4四半期は想定よりやや下回り、19年対比92%となったものの、旅客数の減少を単価の増加でカバーすることで、想定並みの収入を確保することができました。こちらも単価につきましては4月以降、更に高い水準にて推移すると考えております。

2024年3月期 業績詳細

国際・国内旅客（フルサービスキャリア）



国際旅客事業	累計					単独	
	CY19 (4)	FY22	FY23	CY19比	FY22比	FY23Q4	FY22比
旅客収入（億円）	5,312	4,175	6,223	+17.2%	+49.1%	1,506	+15.5%
有償旅客数（千人）	9,796	4,348	6,628	▲32.3%	+52.4%	1,673	+19.7%
RPK（百万人キロ）	48,822	27,310	37,201	▲23.8%	+36.2%	9,077	+11.0%
ASK（百万席キロ）	55,177	38,039	47,328	▲14.2%	+24.4%	11,754	+7.0%
有償座席利用率（%）	88.5%	71.8%	78.6%	▲9.9pt	+6.8pt	77.2%	+2.8pt
単価（円）(1)	54,229	96,015	93,897	+73.1%	▲2.2%	89,985	▲3.5%
イールド（円）(2)	10.9	15.3	16.7	+53.7%	+9.4%	16.6	+4.1%
ユニットレベニュー（円）(3)	9.6	11.0	13.1	+36.6%	+19.8%	12.8	+7.9%

国内旅客事業	累計					単独	
	CY19 (4)	FY22	FY23	CY19比	FY22比	FY23Q4	FY22比
旅客収入（億円）	5,542	4,511	5,508	▲0.6%	+22.1%	1,284	+11.1%
有償旅客数（千人）	38,368	30,109	35,109	▲8.5%	+16.6%	8,465	+9.1%
RPK（百万人キロ）	29,070	23,090	26,771	▲7.9%	+15.9%	6,562	+10.5%
ASK（百万席キロ）	36,539	35,243	35,184	▲3.7%	▲0.2%	8,619	▲0.8%
有償座席利用率（%）	79.6%	65.5%	76.1%	▲3.5pt	+10.6pt	76.1%	+7.8pt
単価（円）(1)	14,445	14,983	15,690	+8.6%	+4.7%	15,170	+1.8%
イールド（円）(2)	19.1	19.5	20.6	+7.9%	+5.3%	19.6	+0.6%
ユニットレベニュー（円）(3)	15.2	12.8	15.7	+3.2%	+22.3%	14.9	+12.0%

(1) 単価=旅客収入/有償旅客数 (2) イールド=旅客収入/RPK (3) ユニットレベニュー=旅客収入/ASK
(4) CY2019=2019年1月～12月。ただし、1月～3月は社内管理上の簡便的手法で試算したIFRS値を使用。

- このページではフルサービスキャリア事業の国際および国内旅客の実績をお示ししております。
- 2024年3月期通期の国際線の旅客数は2019年対比で68%となり、単価が73%上昇した結果、収入は2019年対比で旅客収入は17%増加の6,223億円となりました。
- 同じく国内線の旅客数は2019年対比で92%となり、単価が9%上昇した結果、収入は2019年とほぼ同水準の5,508億円となりました。

2024年3月期 業績詳細 貨物



- ✓ 国際貨物は、市場環境が厳しい中でも医薬品等の高付加価値貨物を中心に物量の最大化に努め、コロナ前を大きく上回る収入を確保
- ✓ 2024年2月から767貨物専用機の運航を開始、エクスプレス・eコマース需要が旺盛な東アジア路線を中心に新たな事業に挑戦

国際貨物事業	累計					単独	
	FY19	FY22	FY23	FY19比	FY22比	FY23Q4	FY22比
貨物収入(億円)	597	1,889	1,003	+68.0%	▲46.9%	237	▲27.1%
有効貨物トンキロ(百万)	4,418	3,855	4,212	▲4.7%	+9.3%	1,049	+4.8 %
有償貨物トンキロ(百万)	2,407	2,795	2,515	+4.5%	▲10.0%	613	▲2.3%
貨物輸送重量(千トン)	397	456	425	+7.2%	▲6.7%	106	+2.5 %
重量単価(円/kg)	150	414	236	+56.7%	▲43.0%	224	▲28.9%

国内貨物事業	累計					単独	
	FY19	FY22	FY23	FY19比	FY22比	FY23Q4	FY22比
貨物収入(億円)	207	200	195	▲5.5%	▲2.1%	45	▲4.2%
有効貨物トンキロ(百万)	1,671	1,620	1,621	▲3.0%	+0.0%	399	+0.0 %
有償貨物トンキロ(百万)	328	280	282	▲13.8%	+0.8%	66	▲4.9%
貨物輸送重量(千トン)	355	294	300	▲15.4%	+2.0%	69	▲3.4%
重量単価(円/kg)	58	68	65	+11.7%	▲4.1%	65	▲0.8%

- こちらのページでは、貨物事業の業績をお示しております。
- 国際貨物は、医薬品等の高付加価値貨物を中心に物量の最大化に努めた結果、2019年を大きく上回る収入を確保しました。また、単価は前年度からは下落して推移したものの、足元では下げ止まって推移しております。

2024年3月期 業績詳細

LCC



- ✓ ZIPAIRは、3月よりバンクーバー線就航。旺盛なインバウンド需要を中心に取り込み、順調に利益を積み重ねる。4月以降も高い利用率を見込む

ZIPAIR 	累計			単独	
	FY22	FY23	FY22比	FY23Q4	FY22比
旅客収入（億円）	224	540	+140.9%	148	+74.8%
有償旅客数（千人）	488	1,130	+131.5%	299	+64.6%
RPK（百万人キロ）	2,471	6,215	+151.5%	1,638	+72.0%
ASK（百万席キロ）	4,674	7,979	+70.7%	2,140	+56.0%
有償座席利用率（%）	52.9%	77.9%	+25.0pt	76.5%	+7.1pt
単価（円）(1)	45,983	47,847	+4.1%	49,553	+6.2%
イールド（円）(2)	9.1	8.7	▲4.2%	9.1	+1.6%
ユニットレベニュー（円）(3)	4.8	6.8	+41.1%	6.9	+12.0%

SPRING JAPAN 	累計			単独	
	FY22	FY23	FY22比	FY23Q4	FY22比
旅客収入（億円）	82	132	+61.1%	41	+51.8%
有償旅客数（千人）	481	845	+75.7%	263	+86.6%
RPK（百万人キロ）	409	902	+120.4%	297	+133.3%
ASK（百万席キロ）	760	1,286	+69.3%	399	+95.9%
有償座席利用率（%）	53.8%	70.1%	+16.3pt	74.4%	+11.9pt
単価（円）(1)	17,092	15,675	▲8.3%	15,880	▲18.6%
イールド（円）(2)	20.1	14.7	▲26.9%	14.1	▲34.9%
ユニットレベニュー（円）(3)	10.8	10.3	▲4.8%	10.5	▲22.5%

(1)単価=旅客収入/有償旅客数 (2)イールド=旅客収入/RPK (3)ユニットレベニュー=旅客収入/ASK

- このページでは、LCCの実績をお示ししております。
- ZIPAIRは、3月にバンクーバー線を開設するなど、順調に旅客数と収入を伸ばしており、着実に成長を続けております。
- スプリングジャパンにつきましても、繁忙期を中心に回復がみられております。

2024年3月期 業績詳細

費用詳細



✓ 実質固定費は5,076億円、着実なコストコントロールを実施

主要営業費用項目

(単位：億円)	累計							単独		
	FY19	FY22	FY23	FY19		FY22		FY23Q4	FY22	
				同期差	同期比	同期差	同期比		同期差	同期比
燃油費	2,434	3,233	3,567	+1,133	+46.6%	+334	+10.3%	905	+89	+10.9%
運航施設利用費	848	526	723	▲124	▲14.7%	+197	+37.4%	188	+45	+32.3%
整備費	740	1,003	1,243	+503	+68.0%	+240	+24.0%	313	+78	+33.3%
航空販売手数料	170	220	260	+89	+52.7%	+39	+18.0%	75	+6	+8.7%
サービス費(1)	444	329	468	+23	+5.3%	+138	+42.0%	125	+30	+32.3%
他変動費(2)	2,041	1,776	2,137	+96	+4.7%	+361	+20.3%	537	+33	+6.7%
機材費(3)	1,341	1,358	1,386	+45	+3.4%	+27	+2.0%	476	+135	+40.0%
人件費(3)	2,913	2,923	3,340	+427	+14.7%	+417	+14.3%	903	+96	+12.0%
その他の費用(3)	2,155	2,075	2,294	+139	+6.5%	+219	+10.6%	600	+64	+12.1%
営業費用合計	13,088	13,446	15,422	+2,334	+17.8%	+1,976	+14.7%	4,126	+580	+16.4%

変動的要素や
一時的要素を除外

実質固定費(4)

■ 実質固定費 ■ 固定費(実質固定費以外) ■ 変動費



- (1) サービス費＝機内・ラウンジ・貨物などのサービスに関わる費用 (2) 他変動費＝旅行・マイル提携・受託事業原価 など
 (3) 科目上固定費となるが、運航規模・旅客数等による変動的要素がある費用や事業構造改革に伴う一時的/追加的な費用を含む
 (4) 実質固定費とは科目上の固定費のうち、運航規模・旅客数等による変動的要素がある費用や事業構造改革に伴う一時的/追加的な費用を除いた費用

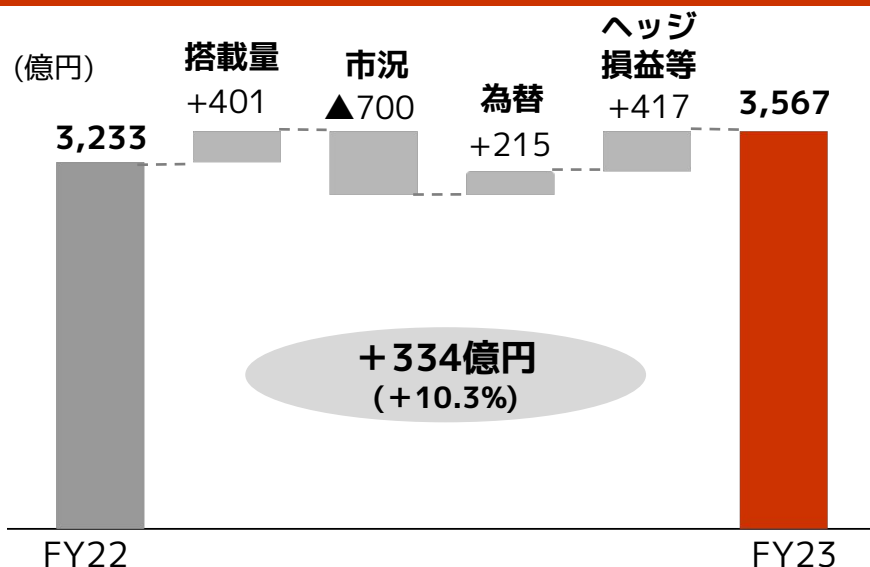
- このページでは、費用の詳細とコストマネジメントについてご説明します。
- 円安の進行といった市況影響に加え、運航規模や旅客数に連動する費用が増加した結果、営業費用合計は前年度対比で1,976億円増加の1兆5,422億円となりました。
- 実質固定費の実績は5,076億円でした。
- 引き続き適切なコストコントロールを継続してまいります。

2024年3月期 業績詳細

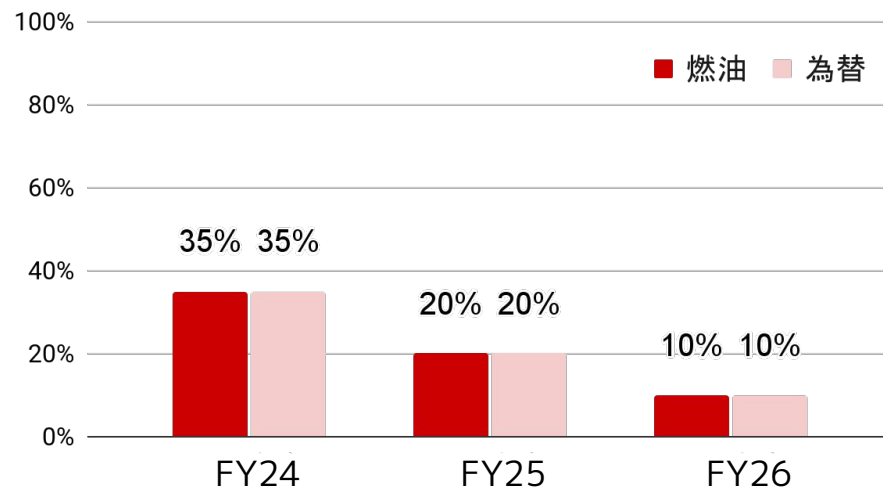
燃油費



燃油費増減の推移



燃油費に対する年度別ヘッジ概況 (2024年3月末時点)



燃油ヘッジ

燃油使用量



- 国内線使用量を対象にヘッジを実施、燃油市況変動に対応
- 国際線使用量は燃油サーチャージ収受にて対応

為替ヘッジ

外貨費用



- 国内線使用量の燃油費を対象にヘッジ実施、燃油市況変動に対応
- 足許では海外発需要の高まりにより、外貨収入が燃油費を除く外貨費用を上回る

- このページでは、燃油費及びヘッジについてご説明します。
- 今期の燃油費は前年から334億円増加の3,567億円でした。
- 右上のグラフは現在のヘッジの進捗状況をお示しております。また、下段にはご参考までに当社の燃油及び為替のヘッジ量の概念図をお示しております。

2024年3月期 業績詳細

財務状況・キャッシュフロー状況



BS ✓ 格付評価上の自己資本比率41.0%、ネットD/Eレシオ0倍と健全な水準を維持

CF ✓ 営業キャッシュフローは3,639億円へ改善、投資を拡大するもフリーキャッシュフローは前年水準を維持

(億円)

連結財政状態計算書	FY22期末	FY23期末	前期末差
総資産	25,206	26,492	+1,286
現金及び現金同等物	6,392	7,138	+746
有利子負債	9,255	8,872	▲382
1年内返済	1,119	1,069	▲50
自己資本(1)	8,162	9,099	+936
自己資本比率 (%) (2)(5)	32.4% (39.3%)	34.3% (41.0%)	+2.0pt (+1.6pt)
D/Eレシオ (倍) (3)	1.1x	1.0x	▲0.2x
ネットD/Eレシオ (倍) (4)(5)	0.4x (0.1x)	0.2x (▲0.0x)	▲0.2x (▲0.1x)
ROIC (%) (6)	3.3%	7.3%	+4.0pt
ROE (%) (7)	4.3%	11.1%	+6.8pt
連結キャッシュフロー計算書	FY22	FY23	前年同期差
営業キャッシュフロー	2,929	3,639	+710
減価償却費	1,574	1,475	▲98
投資キャッシュフロー	▲1,127	▲1,950	▲823
投資・出資額	▲1,286	▲2,210	▲924
フリーキャッシュフロー (8)	1,801	1,688	▲112
財務キャッシュフロー	▲384	▲1,050	▲665
キャッシュフロー合計 (9)	1,416	638	▲778
EBITDA (10)	2,220	2,927	+707

(1) 自己資本=親会社の所有者に帰属する持分

(2) 自己資本比率=親会社所有者帰属持分比率

(3) D/Eレシオ=有利子負債/自己資本

(4) ネットD/Eレシオ=(有利子負債-現金および現金同等物)/自己資本

(5) ()内の数字は、ハイブリッド・ファイナンスを加味した格付評価上の数値

(6) ROIC=EBIT(税引後)/期首・期末固定資産*平均
*固定資産=棚卸資産+非流動資産-繰延税金資産-退職給付に係る資産

(7) ROE=親会社の所有者に帰属する当期利益/期首・期末自己資本平均

(8) フリーキャッシュフロー=営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー

(9) キャッシュフロー合計=営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー+財務キャッシュフロー

(10) EBITDA=EBIT+減価償却費

- 最後に、バランスシートとキャッシュフローについてこのページで説明いたします。
- 2024年3月末の格付評価上の自己資本比率は41.0%、同じくネットDEレシオは0.0倍と、引き続き健全な水準を維持しております。
- また、3月末時点での手元現預金は前年度末より746億円増えて7,138億円となりました。引き続き十分な手元流動性を確保しております。
- キャッシュフローですが、営業キャッシュフローは3,639億円のキャッシュインフローとなりました。また、投資を拡大している中、フリーキャッシュフローも1,688億円の黒字となり、前年度と同じく高い水準を維持しております。

1. 2024年3月期 業績概要
2. 2024年3月期 業績詳細
3. **参考資料**

参考資料

国際線大路別実績（フルサービスキャリア）



旅客収入					
(単位:%)	累計			単独	
	FY23 構成比	FY19比	FY22比	FY23Q4 構成比	FY22比
米大陸線	35%	+59.6%	+38.3%	34%	+12.0%
欧州線	17%	+34.7%	+39.0%	15%	+9.2%
アジア・オセアニア線	33%	+32.3%	+44.0%	36%	+10.2%
中国線	7%	▲13.9%	+213.8%	6%	+70.9%
ハワイ・グアム線	8%	▲23.9%	+83.9%	8%	+43.4%
全路線	100%	+28.0%	+49.1%	100%	+15.5%

ASK					
(単位: 百万席キロ)	累計			単独	
	FY23	FY19比	FY22比	FY23Q4	FY22比
米大陸線	17,893	+8.1%	+10.1%	4,473	+0.6%
欧州線	6,837	▲14.3%	+25.3%	1,624	▲0.5%
アジア・オセアニア線	15,912	▲14.9%	+22.7%	3,911	+2.4%
中国線	2,213	▲33.2%	+486.7%	544	+233.4%
ハワイ・グアム線	4,470	▲39.3%	+49.8%	1,199	+29.9%
全路線	47,328	▲12.2%	+24.4%	11,754	+7.0%

RPK					
(単位: 百万人キロ)	累計			単独	
	FY23	FY19比	FY22比	FY23Q4	FY22比
米大陸線	13,988	▲1.7%	+16.4%	3,333	▲1.3%
欧州線	5,355	▲20.8%	+47.1%	1,185	+13.1%
アジア・オセアニア線	12,904	▲17.5%	+35.6%	3,262	+6.7%
中国線	1,371	▲46.3%	+573.2%	372	+287.8%
ハワイ・グアム線	3,582	▲43.8%	+85.2%	922	+53.1%
全路線	37,201	▲18.3%	+36.2%	9,077	+11.0%

有償旅客数					
(単位:千人)	累計			単独	
	FY23	FY19比	FY22比	FY23Q4	FY22比
米大陸線	1,501	▲0.7%	+16.2%	356	▲2.0%
欧州線	569	▲24.0%	+46.3%	124	+12.0%
アジア・オセアニア線	3,251	▲22.8%	+44.7%	841	+8.7%
中国線	702	▲48.5%	+578.7%	190	+288.6%
ハワイ・グアム線	602	▲46.2%	+90.8%	159	+60.9%
全路線	6,628	▲26.0%	+52.4%	1,673	+19.7%

有償座席利用率					
(単位:%)	累計			単独	
	FY23	FY19	FY22	FY23Q4	FY22Q4
米大陸線	78.2%	85.9%	73.9%	74.5%	75.9%
欧州線	78.3%	84.7%	66.7%	73.0%	64.2%
アジア・オセアニア線	81.1%	83.6%	73.4%	83.4%	80.1%
中国線	61.9%	77.0%	54.0%	68.3%	58.7%
ハワイ・グアム線	80.1%	86.5%	64.8%	76.9%	65.2%
全路線	78.6%	84.5%	71.8%	77.2%	74.5%

参考資料 航空機一覧



			前期末 2023/3/31			当期末 2024/3/31			増減
			所有	リース	合計	所有	リース	合計	
フルサービスキャリア	大型機	Airbus A350-1000	0	0	0	3	0	3	+3
		Airbus A350-900	12	4	16	11	4	15	▲1
		Boeing 777-300ER	13	0	13	13	0	13	0
		Boeing 777-200ER	3	0	3	0	0	0	▲3
		大型機 小計	28	4	32	27	4	31	▲1
	中型機	Boeing 787-9	19	3	22	19	3	22	0
		Boeing 787-8	25	0	25	23	0	23	▲2
		Boeing 767-300ER	16	11	27	16	9	25	▲2
		中型機 小計	60	14	74	58	12	70	▲4
	小型機	Boeing 737-800	47	9	56	47	9	56	0
		小型機 小計	47	9	56	47	9	56	0
	リージョナル機	Embraer 170 / Embraer 190	32	0	32	32	0	32	0
		De Havilland DHC-8-400CC	5	0	5	5	0	5	0
		ATR42-600 / ATR72-600	13	1	14	14	1	15	+1
		リージョナル機 小計	50	1	51	51	1	52	+1
	貨物機	Airbus A321-200	0	0	0	0	2	2	+2
		Boeing 767-300ER	0	0	0	0	2	2	+2
		貨物機 小計	0	0	0	0	4	4	+4
フルサービスキャリア 合計			185	28	213	183	30	213	0
LCC	Boeing 787-8	5	0	5	8	0	8	+3	
	Boeing 737-800	0	6	6	0	6	6	0	
	LCC合計	5	6	11	8	6	14	+3	
総計			190	34	224	191	36	227	+3

参考資料

2025年3月期 通期連結業績予想



(単位：億円)	FY23	FY24		
	実績	予想	FY23差	FY23比
売上収益	16,518	19,300	+2,781	+16.8%
フルサービスキャリア	13,225	15,030	+1,804	+13.6%
国際旅客収入	6,223	7,100	+876	+14.1%
国内旅客収入	5,508	5,980	+471	+8.6%
貨物郵便収入	1,333	1,670	+336	+25.2%
その他収入	159	280	+120	+75.4%
LCC	753	1,150	+396	+52.5%
マイル/金融・コマース	1,903	2,230	+326	+17.2%
その他（旅行・受託等）	2,257	2,900	+642	+28.5%
連結調整額	▲1,621	▲2,010	▲388	-
営業費用	15,422	17,750	+2,327	+15.1%
燃油費	3,567	4,350	+782	+21.9%
燃油費以外	11,854	13,400	+1,545	+13.0%
その他収支	356	150	▲206	▲57.9%
EBIT	1,452	1,700	+247	+17.1%
フルサービスキャリア	1,060	1,100	+39	+3.7%
LCC	33	130	+96	+293.7%
マイル/金融・コマース	346	440	+93	+27.0%
その他（旅行・受託等）	45	120	+74	+162.9%
連結調整額	▲33	▲90	▲56	-
純利益	955	1,000	+44	+4.7%

当社は2024年度より事業セグメントの変更を予定しております。上記の数値は2024年度からの事業セグメントの変更に合わせて当社が簡便的に試算した数値になります。

2025年3月期 通期連結業績予想

国際・国内旅客事業（フルサービスキャリア）



国際旅客事業	CY19 (4)	FY23	FY24 予想	CY19比 (%)			FY23比 (%)		
				通期	上期	下期	通期	上期	下期
旅客収入(億円)	5,312	6,223	7,100	+33.6%	+27.1%	+40.5%	+14.1%	+10.4%	+17.9%
有償旅客数(千人)	9,796	6,628	7,459	▲23.9%	▲25.0%	▲22.7%	+12.5%	+12.7%	+12.4%
RPK(百万人キロ)	48,822	37,201	40,689	▲16.7%	▲17.4%	▲15.9%	+9.4%	+8.5%	+10.3%
ASK(百万席キロ)	55,177	47,328	49,997	▲9.4%	▲10.3%	▲8.5%	+5.6%	+5.2%	+6.1%
有償座席利用率(%)	88.5%	78.6%	81.4%	▲7.1pt	▲7.1pt	▲7.1pt	+2.8pt	+2.4pt	+3.1pt
単価(円)(1)	54,229	93,897	95,281	+75.7%	+69.8%	+81.8%	+1.5%	▲1.8%	+4.9%
イールド(円)(2)	10.9	16.7	17.5	+60.5%	+54.3%	+67.0%	+4.4%	+2.0%	+6.9%
ユニットレベニュー(円)(3)	9.6	13.1	14.2	+47.7%	+42.0%	+53.6%	+8.1%	+5.1%	+11.1%

国内旅客事業	CY19 (4)	FY23	FY24 予想	CY19比 (%)			FY23比 (%)		
				通期	上期	下期	通期	上期	下期
旅客収入(億円)	5,542	5,508	5,980	+7.9%	+7.1%	+8.8%	+8.6%	+11.2%	+5.9%
有償旅客数(千人)	38,368	35,109	36,129	▲5.8%	▲5.6%	▲6.1%	+2.9%	+4.6%	+1.2%
RPK(百万人キロ)	29,070	26,771	27,384	▲5.8%	▲5.2%	▲6.4%	+2.3%	+4.7%	▲0.1%
ASK(百万席キロ)	36,539	35,184	35,457	▲3.0%	▲2.5%	▲3.5%	+0.8%	+1.7%	▲0.1%
有償座席利用率(%)	79.6%	76.1%	77.2%	▲2.3pt	▲2.3pt	▲2.4pt	+1.1pt	+2.3pt	▲0.0pt
単価(円)(1)	14,445	15,690	16,574	+14.7%	+13.4%	+16.1%	+5.6%	+6.4%	+4.8%
イールド(円)(2)	19.1	20.6	21.9	+14.7%	+13.0%	+16.4%	+6.3%	+6.2%	+6.3%
ユニットレベニュー(円)(3)	15.2	15.7	16.9	+11.3%	+9.8%	+12.9%	+7.9%	+9.5%	+6.2%

(1) 単価=旅客収入/有償旅客数 (2) イールド=旅客収入/RPK (3) ユニットレベニュー=旅客収入/ASK
 (4) CY2019=2019年1月～12月。ただし、1月～3月は社内管理上の簡便的手法で試算したIFRS値を使用。

明日の空へ、日本の翼



JAPAN AIRLINES

当資料に関するお問い合わせ先

日本航空株式会社

財務・経理本部 財務部

本資料には、日本航空株式会社（以下「当社」といいます）及びそのグループ会社（以下当社とあわせて「当社グループ」といいます）に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が当該資料作成時点（又はそこに別途明記された時点）において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記述のためには、一定の前提・仮定を使用しています。これらの記述又は前提・仮定は当社経営陣の判断ないし主観的な予想を含むものであり、様々なリスク及び不確実性により、将来において不正確であることが判明し、あるいは将来において実現しないことがあります。したがって、当社グループの実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、日本その他の国・地域における経済社会状況、燃油費の高騰、日本円と米ドルその他外貨との為替レートの変動、テロ事件及び戦争、伝染病その他航空事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本資料に掲載されている将来情報に関する記述は、上記のとおり当該資料の作成時点（又はそこに別途明記された時点）のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

本資料に掲載されている情報は、情報提供を目的としたものであり、いかなる有価証券、金融商品又は取引についての募集、投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。

本資料への当社グループに関する情報の掲載に当たっては万全を期しておりますが、監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性、完全性、公正性及び確実性を保証するものではありません。

従いまして、本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は日本航空株式会社に属します。